

## 天応中学校区 「育成すべき資質・能力」の具体の姿

目指す児童生徒像

○自ら学び、考えを伝えることができる児童生徒の育成

## 1 「育成すべき資質・能力」の具体の姿

	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 自主性・主体性
後期	各教科等に関する知識や技能などを汎用し、課題を解決しようとする。	課題解決に向けて、既存の知識と必要となる新たな知識・技能を適切に組み合わせ活用し、解決の方法や方向性を比較・選択して結論を導き、相手や状況に応じた表現をしようとする。	課題解決に向けて、自分と他者の役割を自覚し、協動的に活動しようとする。
中期	身に付けた各教科等に関する個別の知識や技能などを活用し、課題を解決しようとする。	課題解決に向けて、既存の知識と新たな知識・技能を組み合わせ、解決の方法を比較・選択して結論を導き、相手や状況に応じた表現をしようとする。	課題解決に向けて、進んで自分の役割を見付け、能動的に活動しようとする。
前期	各教科等に関する個別の知識や技能などを身に付け、活用しようとする。	課題解決に向けて、既習事項をもとに必要な情報を整理し、情報発信をしたり、表現し合ったりする。	課題解決に向けて、進んで自分の役割を見付けようとする。

## 2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	リーダーとしての役割から考える	小中合同行事や中学校の全校合宿、地域での防災学習を通し、自己実現・社会貢献に向けて考え、行動させる。
中期	身近な「人・もの・こと」から学ぶ	総合的な学習の時間や特別活動などにおいて、身近な人（地域の方、先輩、家庭の方など）・もの（公共施設、店など）・こと（学校行事、地域行事など）と関わる体験活動を取り入れる。
前期	基礎・基本の充実	国語科・算数科における「思考力・判断力・表現力」の育成を重点化し、総合的な学習の時間や生活科の活動に活用・発展させる。

## 3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

○ 総合的な学習の時間は、9年間を通して、防災プロジェクトと夢・絆プロジェクトを意図的・計画的に配列している。本中学校区は、平成30年7月西日本豪雨災害による甚大な被害を受け、小学校と中学校が同じ校舎の中で生活している。そのため、9年間を通じた防災教育が必要であると痛感し、今まで行っていた夢プロジェクトと絆プロジェクトを一本化して「夢・絆プロジェクト」とし、新たに「防災プロジェクト」を加えた。

「防災プロジェクト」では、防災教育の視点を踏まえて、「自分の命は自分で守る」をいう自覚をもたせるだけでなく、「自分たち子どもが天応の大人を守る」という意識にまで高めていくという地域とのつながりを意識した単元づくりを行い、社会参画の意識やコミュニケーション能力を育む。「夢・絆プロジェクト」では、地域とのつながりや、同学年の仲間だけでなく、異学年及び異校種の仲間とのつながりを育んだり、将来や進路について、自ら学び、考えようとする意思を育んだりする。

